

# 哲學研究

第四十四卷 第四册

第五百十號

昭和四十四年二月一日發行

書の論理……………植田壽藏

倫理の理論に於ける功用の觀念……………神野慧一郎

世界概念の哲學

— カントに於ける道德と宗教の問題 —

……………有福孝岳

京都大學文學部内  
京都哲學會



告 予 文 論 号 次	
宗教的象徴の本質と作用……………	ウインストン、 L・キング 武内 義 範 記
ハイデッガーに於ける世界の問題 (未完)……………	辻 村 公 一
ヘーゲル精神現象学に於ける 自意識の研究序説(一)……………	稲 葉 稔

次 目 号 前	
自由・運命・摂理……………	島 芳 夫
マックス・ウェーバーにおける 東洋哲学の社会学的考察(一)……………	向 井 守
科学的認識をめぐる合理論と 経験論の対立と交錯……………	野 本 和 幸
——その現代理論哲学における意味——	

彙報・報告

一、京都哲学会公開講演会記事 昭和四十三年十一月二日午後一時半より定例の京都哲学会公開講演会が(京都大学教授)山田晶氏(無からの創造——その解釈と意義——)、(京都大学助教授)梶山雄一氏(仏教に於ける瞑想と哲学)を講師に迎えて法経第七講義室で開催された。引き続きいて楽友会館に於ける懇親会が講演内容の一つに関して鋭い質問と穏かな応答との歓談逍遙裡に行なわれた。尚近々本誌上に両講演は発表される予定である。

一、西田幾多郎博士記念講演会記事 昭和四十三年十一月十六日午後一時半より文学部第一講義室に於て(奈良教育大学教授)阿部正雄氏「西田哲学に於ける場所の思想について」、(学士院会員・大手前女子大学教授)三宅剛一氏(「西田哲学に於ける『作るもの』と『人格』」)を講師に迎えて寸心会定例の西田幾多郎博士記念講演会が開催された。講演後三高会館にて懇親会が八時すぎ迄行なわれた。

一、今回行なわれました日本學術會議第八期會員選挙にあたり、本会より推薦いたしました本会委員(京都大学文学部長)井島勉氏は近畿地方区から当選されましたので報告いたします。

會 告

一、本會は會員組織とし會員には資格の制限を設けません、入會希望の方は京都市左京區吉田京都大學文學部内京都哲學會(振替口座東京四〇三九番 京都哲學會)宛に規定の會費(年二、四〇〇圓又は半年一、二〇〇圓)をお拂込下さい

又會員への會誌送付、バックナンバー購入及び發賣に關する一切は東京都千代田區一番町一七番地三号創文社(振替口座東京九二四七二番)宛に願います  
一、會費切れの場合は封筒に「前金切」の印を捺しますから直ちに京都哲學會宛御拂込下さい(一年分又は半年二分)、會費は原則として本誌十二冊(又は六冊)の送付済を以て前金切れとし、會費の變更其他の事情による過不足は一年(又は半年)毎に清算します

一、會員の轉居・入退會の事務及び編集事務の一切は京都哲學會宛に御通知下さい  
一、本誌の編集に關する通信・新刊書・寄贈雜誌等は本會宛にお送り下さい

京 都 哲 學 會

京都市左京區吉田  
京都大學文學部内

昭和四十四年一月二十五日印刷  
昭和四十四年二月 一 日發行

編 集 人 京 都 哲 學 會

京 都 大 學 文 學 部 内  
編 集 代 表

有 福 孝 岳

發 行 人 久 保 井 理 津 男

京 都 千 代 田 區 一 番 町 一 七 番 地

印 刷 人 堀 内 文 治 郎

印 刷 所 堀 内 印 刷 所

東 京 都 千 代 田 區 三 崎 町 二 一 八

發 行 所 創 文 社

株 式 會 社

東 京 都 千 代 田 區 一 番 町 一 七 番 地  
振 替 口 座 東 京 九 二 四 七 二 番  
電 話 東 京 二 六 三 七 一 〇 一 (代 表)

註 文 規 定

一、會員以外の購讀者の御註文及び廣告掲載に關する件は「創文社」へ御申込下さい  
一、本誌の御註文はすべて代金送料共(一部、定価二五〇圓、送料・四〇圓)前金にてお送り下さい

昭和四十四年二月二十五日印刷  
（毎月一回發行）

THE JOURNAL  
OF  
PHILOSOPHICAL STUDIES  
THE TETSUGAKU KENKYU

---

---

Vol. XLIV

February, 1969

No. 4

---

---

*Logik der Kalligraphie* .....Juzo Ueda

*The Rôle of the Concept of Utility*

*in Ethical Theory* .....Keiichiro Kamino

*Die Philosophie nach dem Weltbegriff*

— *zum Problem der Moral und Religion*

*bei Kant* — .....Kôgaku Arifuku

Published Monthly

by

**THE KYOTO PHILOSOPHICAL SOCIETY**

(The Kyoto Tetsugaku-kai)

Kyoto University

Kyoto, Japan